

2021年3月19日
株式会社 NTTドコモ

国内初、5G・ドコモオープンイノベーションクラウドを利用した 遠隔医療支援システムを導入

～ 5G×ドコモオープンイノベーションクラウドによる遠隔医療の新たな姿を徳島から発信～

株式会社 NTTドコモ(以下、ドコモ)は徳島県と2021年3月から、5Gとドコモオープンイノベーションクラウド[®]※1を活用した高精細映像伝送による遠隔医療支援システム(以下、5G遠隔医療支援システム〔仮称〕)を徳島県立中央病院と三好病院と海部病院(以下、県立病院)に導入します。

5G遠隔医療支援システムは、ドコモオープンイノベーションクラウドによる高セキュリティな閉域網を利用し、医療機器のデータやカメラの高精細映像を高速・大容量の5G通信で、遠隔地にある県立病院の間を伝送することが可能となるシステムです。5G×ドコモオープンイノベーションクラウドを利用した5G遠隔医療支援システムの医療機関への導入は国内初となります^{※2}。2021年度早期に運用開始を予定しています。

5G遠隔医療支援システムは2020年1月～2月に徳島県立中央病院と海部病院で実施した実証実験の結果や患者・医師の意見を踏まえ、操作性の向上や映像・音声合成などのシステム改善を加えて構築しました。

5G 遠隔医療支援システム活用イメージ



5G 遠隔医療支援システムの活用により、例えば診療のため遠隔地へ出向いていた専門医と患者双方の移動時間の軽減や、各地域でも都市部と同等の医療を受けられることが期待されます。

また、熟練専門医による医療行為を映像伝送することで若手医師への指導、県立総合看護学校と県立病院をつないだ遠隔授業への活用など、将来的にはさらに幅広い活用が見込めます。



今後も「とくしま Society 5.0 の実装に向けた連携協定(2020年6月12日締結)」に基づき、徳島県と連携し、県内の医療を担う13病院で構成された「徳島医療コンソーシアム」への導入拡大や、「ドクターカー」への搭載による救急診療・県立病院からの訪問診療への応用も検討されることとなっています。

ドコモは、今後、5G 遠隔医療支援システムの全国への水平展開を進め、地域課題解決をめざします。

※1 ドコモオープンイノベーションクラウドは、5G時代に求められる低遅延、高セキュリティなど MEC (Multi-access Edge Computing) の特長を持つクラウドサービスです。(各種条件により遅延時間は変動するため、ネットワークの伝送遅延が必ず一定以下になるといった保証をするものではありません。)

※2 NTTドコモ調べ。2021年3月19日時点。

*ドコモオープンイノベーションクラウドは、株式会社NTTドコモの登録商標です。

| 本件に関する報道機関からのお問い合わせ先 | 法人のお客さまからのお問い合わせ先 |
|---|---|
| <p style="text-align: center;">株式会社 NTTドコモ四国支社 広報室 TEL:087-832-2035</p> | <p style="text-align: center;">株式会社 NTTドコモ四国支社 法人営業部 TEL:087-811-5502 株式会社ドコモ CS 四国 徳島支店 法人営業部 TEL:088-626-2444</p> |

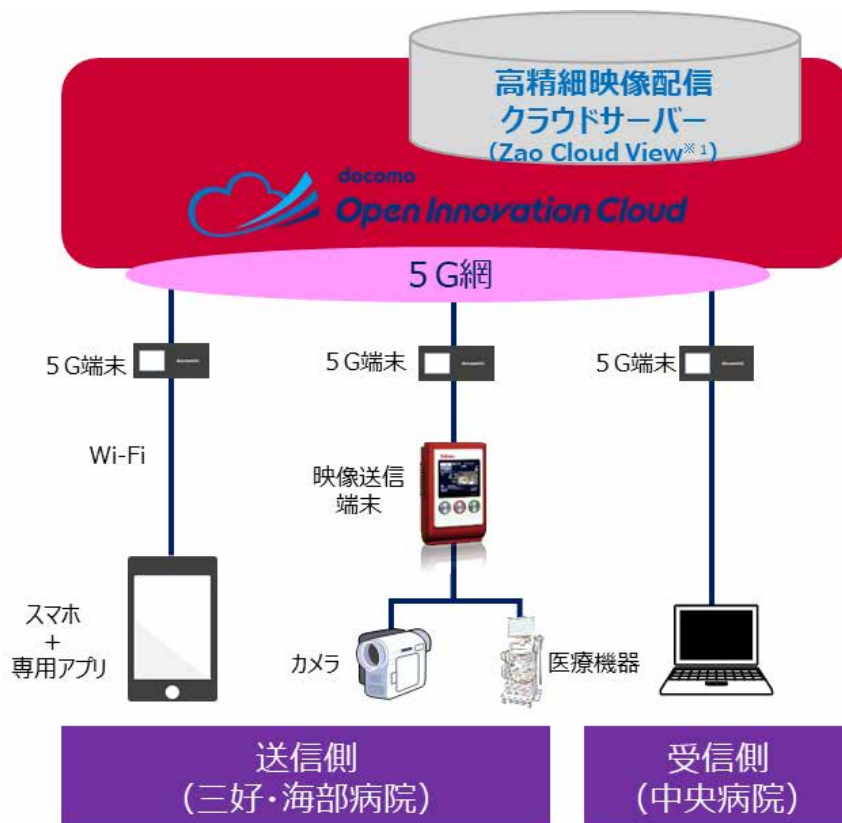
5G 遠隔医療支援システムの概要

1. 概要

ドコモオープンイノベーションクラウドによる高セキュリティな閉域網を利用し、医療機器のデータやカメラの高精細映像を高速・大容量の 5G 通信で、遠隔地にある県立病院の間を伝送することが可能となるシステムです。

<5G 遠隔医療支援システムの特徴>

- ・5G と先進のドコモオープンイノベーションクラウドを組み合わせることで、高速・大容量通信とクラウドの高い拡張性・セキュリティを実現
- ・患者、医師の映像に加え、エコーや心電図・内視鏡等の医療機器データを合成し一画面での送信を行うことで、医師の負担を軽減



システム構成イメージ

2. 導入病院

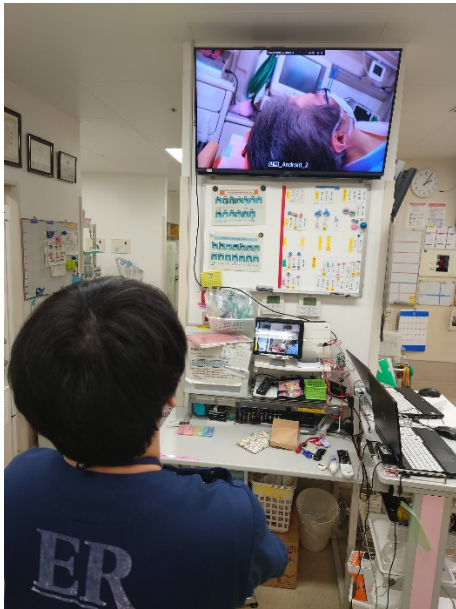
徳島県立中央病院：徳島県徳島市蔵本町1丁目10-3

徳島県立三好病院：徳島県三好市池田町シマ815-2

徳島県立海部病院：徳島県海部郡牟岐町大字中村字杉谷266

3. 活用方法および導入イメージ

- ・高精細映像を活用した糖尿病などの遠隔医療支援
- ・エコー、心電図、内視鏡等の医療機器画像の送信による遠隔医療支援
- ・ドクターカーなどへの搭載による救急・訪問医療支援



※1 株式会社ソリトンシステムズの提供する高精細映像配信システム